

組み合わせ作業のRMRと心搏増加率との関係

都立立川短大 桑田百代 ○杉浦徳美

目的 前2報の結果などから、長時間の家事労働においても、心搏増加率からRMRが推定できると考えられる。そこで今回は、実験的に3種類の家事作業をいろいろに組み合わせた場合のRMRと、心搏増加率との関係を明らかにし、長時間の家事作業にも使用できるか否かを知るため実験を行った。

方法 被検者は主婦4人であり、家計簿つけ、アイロンかけ、洗濯の3種類の家事作業をいろいろに組み合わせたものを1単位作業とし、測定時間は1単位作業10分間で37単位作業について実験した。時間配分は10分間を5分3分2分、7分2分1分、6分2分2分、8分2分、6分4分の5分類とした。RMRと心搏数は平行して測定し、その関係をみた。

結果 計37単位作業について測定した結果、RMRと心搏増加率との間には次のような関係があった。1. 単位作業のRMRと各作業の作業終了前1分間、30秒間、15秒間から算出した単位作業の心搏増加率との間には、それぞれいおれにも $r = 0.82$ 以上の高い相関があった。2. 単位作業中の家事作業を個々にして、それを単一作業としてとらえても、1, 2分ほどの短作業を除くと、RMRと心搏増加率との間には、作業終了前1分間、30秒間、15秒間とも $r = 0.84$ 以上の相関があった。

以上の結果から、種々の作業からなる長時間家事労働にも応用できることがわかった。